

※ 9/1(火)朝 5 時 情報解禁。ご注意ください。



「再生のウズメ」

東海テレビ・フジテレビ系全国ネット

2026年10月3日(土) 23時40分スタート!

田村ウズメ、40 歳。ひきこもり歴 12 年。

いまから人生やり直します!

イモトアヤコ、連ドラ初主演!



「その女、ジルバ」「おっパン」で話題を作った土ドラが贈る
疲れた現代人の心を包み込む、やさしい薬のような物語

40 歳、ひきこもり歴 12 年

人生を諦めていた女性が、もう一度「外の世界」へ

田村ウズメ、40 歳。

かつては人を笑顔にする役者を夢見た子役だった。

しかし、28 歳のとき、ある出来事をきっかけに役者をやめ、実家の部屋に引きこもってしまう。それから 12 年。結婚もせず、働きもせず、自堕落な日々を送るウズメを見かねた母・咲子は、ついに「便利屋」を呼び、娘の部屋の片付けを依頼する。

そこにやってきたのが、便利屋「救ちゃん」の代表・興梠(コオロギ)。
部屋にあった一枚の写真から、ウズメがかつて子役として演技をしていたことに気づいた興梠は、代行スタッフとして働かないかとウズメをスカウトする。

「人生をやり直すチャンスを得たのかもしれない。
絶望の時間は終わりの時が来て、希望の時間がやってきましたよって言いたいんです」

こうして、興梠によって半ば強引に社会へ引っ張り出されたウズメ。

浮気相手のふりをして妻に謝罪する仕事や、有名女性作家の「隠し子」になりすまして、かつての想い人に会いに行く仕事など、さまざまな依頼を通して、人と関わり始めていく。

最初は戸惑いながらも、依頼人たちの人生に触れる中で、ウズメ自身もまた、止まっていた自分の人生や、過去の傷と向き合うようになる。

そして、ウズメと出会った人々もまた、彼女との交流を通して、それぞれが抱えていた心の傷や悩みと向き合い、少しずつ前へ進み始める。

12 年間、人生を止めていたウズメが、もう一度歩き出す。

ウズメの名前の由来は神話の天岩戸伝説。岩の中に隠れてしまったアマテラスオオミカミを踊りで表の世界に連れ出した女神・アメノウズメノミコトから名付けられている。
繊細だけど、根はパワフル。時にコミカルで、どこか不器用なウズメが、人の心の扉を開いていく――。

「何歳からでも、人生はやり直せる。」

疲れた現代人の心にそっと寄り添い、傷ついた人の背中を優しく押す

再生と希望のヒューマンドラマ。

傷ついた人の背中をそっと支えるやさしくあたたかな物語にぜひご期待ください。



イモトアヤコ、連続ドラマ初主演！

「私が演じるウズメも、誰かを照らせる存在になれたらいいな」



田村ウズメ(40) :イモトアヤコ

小学4年生の時に学芸会で「こぶとり爺さん」の主演を演じ、人を笑顔にできる役者の仕事に興味を持つ。母の咲子に頼み、子役事務所に通うようになる。高校卒業と同時に役者を目指して小さな劇団に所属。舞台役者として頑張っていたが、28歳の春、とある出来事をきっかけに、役者をやめ、家の部屋に閉じこもってしまう……

そのまま自堕落な生活を続け、気が付けば40歳……自分でもどうしていいか分からない時に、便利屋「救ちゃん」の興侶と出会い、再び人生が動き始める——

イモトアヤコ コメント

Qオファーを受けた時の気持ちと意気込みは

まず、びっくりしました。私でいいのかなと思う反面、すごく夢ではあったので嬉しかったです。ただ、連続ドラマの主演という責任と、やったことのない未知のモノへの若干の不安はあります。でも、ウズメがすごくリアルな 40 歳の女性で、私と年齢も一緒というところもあって、ある種運命なんじゃないかなと思いました。これから頑張りたいです！

Q原作を読まれた感想は

面白かったです。そして決して遠い話じゃないように感じ、どのエピソードもリアリティがすごいなと読んでて思いました。

12 年間引きこもりっていう設定はありますが、ウズメはリアルな人だなと。

才能があるような人に引き込まれていく感じであったり、20 代でエンタメに携わる人が陥りがちなシーンは泣きそうになりました。



Q主人公・田村ウズメの共通点はありましたか。また演じるうえで大切にしたいことは。

今のウズメとは違う点の方が多いかないかとは思いました。

私自身は前向きに動いて、動いて、何か次に繋がるようにと思って今も行動しています。ただ、原作を読んでみて一つの出来事で自分の時間が止まってしまうんじゃないかっていう恐怖心は感じました。

昔のウズメのように私自身もかなりアクティブな方だと思っているので、だからこそ、もしかしたら一つの出来事で時計が止まってしまうのかもとは思いましたね。

人に話すのはちょっと恥ずかしいんですけど、想像力を使ってウズメとして日記を書くなどして、ウズメでいる時間をカメラの前以外でも作るように努力をしようとは考えています。

Q 原作ファンの皆さま、そしてドラマを楽しみにしてくださる視聴者の皆さまへメッセージ

原作を大切にやってほしいなっていうのと、原作とドラマの共通テーマが「光」で、そこをすごく意識しているので、見ている方にもそれを感じていただけたら嬉しいです。

ウズメも光を与えようと思って行動してるわけではない。でも動いてたら、誰かを照らす光になっている。

私が演じるウズメも、そんなふうに誰かを照らせる存在になれたらいいなと思っています。

ぜひご覧ください！

**「また一歩前へ。」人生は、いつでもやり直せる。
希望と再生を描く話題のコミックが待望の映像化！**

原作は『再生のウズメ』（祥伝社／『FEEL YOUNG』連載中）。

漫画家・天堂きりん氏が描く、人生の”再生”をテーマにしたヒューマンドラマ。引きこもり生活を送る元子役の女性が、便利屋での仕事を通して少しずつ社会や人とのつながりを取り戻していく姿を、時にユーモラスに、時に温かな眼差しで描き、多くの読者の共感を呼んでいる。

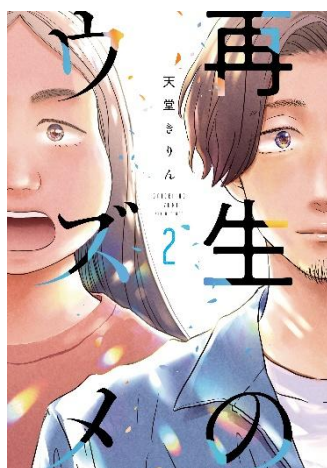
主人公だけでなく、依頼人やその周囲で悩みを抱える人々にも丁寧に寄り添い、「何歳からでも人生はやり直せる」というメッセージを紡ぐ本作。

優しくも力強い世界観で読者を魅了してきた本作が、このたび待望の映像化を果たす。

原作



『再生のウズメ 1』



『再生のウズメ 2』



『再生のウズメ 3』

※「©天堂きりん／祥伝社 FEEL COMICS」書影使用の際、表記必要※

原作 天堂 きりん コメント

『誰かのためを思って描こう』と心に決めて始めた連載でしたが、思うような結果が出ず、実は 2 年前に終了を決意していました。だけどその矢先、ドラマ化のお話をいただき連載を継続。

その後、ご縁があって今回のドラマ化が決まり、プロデューサーの松本さん、河角さん、古林さん、渋谷さんの作品に対する熱い思いをお聞きし胸が熱くなりました。

主人公の田村ウズメ役にイモトアヤコさんのお名前が挙がった時は全く予想してなかったので驚きでした。ですがその日を境に私の頭の中でイモトさんがウズメとして生き生きと動く姿しか浮かばなくなりました。きっと、等身大のウズメを誰よりも面白おかしく、そして愛されるキャラクターに演じてくださるだろうと…。

そんな中、調整して頂きお忙しい中でのご出演決定の知らせは本当に嬉しかったです。

原作は連載中のため、ドラマにはオリジナル展開や先の場面も登場します。制作の皆様と何度も話し合い、丁寧に脚本を作り上げ、チーム全員で形にしています。

ドラマという形で「みんなの作品」へと育っていく素晴らしい機会を頂き、感謝しかありません。

このドラマが、必要としていただける方皆さまに届くことを心より願っております。

あらすじ

元子役の田村ウズメは、28歳の時、ある出来事がきっかけで家にこもるように……それから12年。同級生たちが家庭を築く中、家で自堕落な日々を送るウズメを見かねた母・咲子は「便利屋」を呼び、部屋の片付けを依頼する。やってきたのは便利屋・救ちゃんの代表・興梠。この出会いがウズメの人生を大きく変えていくことになる。

調子のよい興梠に乗せられ、半ば強引に便利屋で代行スタッフをさせられることになるウズメ。

浮気相手のふりをして妻に謝罪をする仕事や、有名女性作家の隠し子(娘)になりすましかつての想い人に会いに行く仕事などを通じてウズメが社会と関わりを持ち始める中、そんなウズメと出会うことで依頼人たちもまた心の傷を癒していくことに。

繊細で、でも根はパワフル。そして時にコミカルな主人公・ウズメが、周囲の人の心の扉をどう開いていくのか！？ 見ている人もやさしく包み込むデトックス系ヒューマンドラマ爆誕！



放送概要

タイトル

土ドラ『再生のウズメ』

放送日時

2026 年 10 月 3 日(土)～12 月 5 日(土)予定<全 10 話>
毎週土曜日 23 時 40 分～ 東海テレビ・フジテレビ系全国ネット

スタッフ

【企画】	稲吉 豊(東海テレビ) 伊藤 真保(東海テレビ)
【原作】	天堂 きりん『再生のウズメ』(祥伝社 FEEL COMICS)
【脚本】	鎌田 智恵 / 早船 歌江子 ほか
【音楽】	鈴木 ヤスヨシ
【演出】	古澤 健 / 渋谷 未来 / 加治屋 彰人 / 水取 拓也
【プロデューサー】	松本 圭右(東海テレビ) / 河角 直樹(東海テレビ) 古林 都子(The icon) / 渋谷 未来(The icon)
【制作】	東海テレビ / The icon

本件に関する問い合わせ先

東海テレビ 東京編成部
メディアマーケティング部

伊藤光輝
角 あかり

電話 03(3503)1391
電話 052(954)1131